

白岡市協働のまちづくりモデル事業補助金実績報告書

令和 4 年 3 月 10 日

白岡市長 藤井 栄一郎 様

団 体 名 白岡きれいにしよう会

会長

代表者住所 白岡市小久喜

電話番号

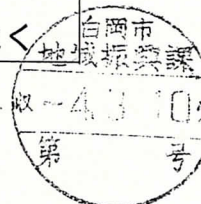
令和 3 年 7 月 12 日付け地第 60 号で補助金の交付決定を受けた白岡市協働のまちづくりモデル事業が完了したので、白岡市補助金等の交付手続き等に関する規制第 15 条の規定により、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1 補助金交付決定額 金 100,000 円

2 モデル事業の成果

事業名	コミュニティセンター敷地内の維持管理
事業費総額	98,267 円
事業期間	令和 3 年 7 月 12 日(月)から 令和 4 年 3 月 10 日(木)
実施場所	白岡市白岡 857-6
参加者数	12 人
事業内容及び事業効果	敷地内に冬季以外は季節に咲く花卉を植え、周囲の樹木を剪定し、年間を通じて草取りを行い、施設をこぎれいにし美観を創出した。 剪定した枝をチップ化し、敷地の一部に敷き詰めて、リサイクルによる環境保全と防草対策を実現した。(チップを敷地全体に敷き詰めるのは 5 年ほどかかる見込み) 一連の作業を進めるなかで、来館者からは、美観を維持する活動に共感をいただき、花卉の種や苗を寄贈されるなど、地域住民との交流をはかることができた。 【実施内容】 ① 春には第一駐車場入口周辺、談話室及び和室南側の芝桜、正面玄関前、談話室南側のクロッカス、チューリップ、ヒヤシンス、水仙、夏から秋には秋桜が施設を彩った。 ② 樹木の剪定はほぼ全周にかけて行った。 特に木が密集している箇所は強剪定をして風通しをよく



した、和室前の梅の木は3月を迎え早くも開花した。
剪定した枝はチップ化し和室南側斜面下からはじめて、3月初に15mほどの長さに敷き詰めた。

③ 菜園は、計画どおり南側斜面下で作業着手した。

3月初時点では、じゃがいも二種を植えたところで、収穫は6月頃を予定している。収穫時には児童館に来館する子どもたちに収穫体験を企画している。

④ 市民から寄贈された花の種・苗は、和室・談話室南側に、また種の一部は10個のプランターに植え正面玄関前におき、2月末に花芽がではじめた。

⑤ 9月には老人クラブの皆さまが草取りボランティア活動をしていただいた。

この一連の事業に協力をいただいた市民の皆さまとは、環境美化を通じて連帯感を高めることができた。この活動を継続することでより輪が広がり、コミセンが地域の拠点として存在感を高めていく一助になると考える。

3 収 支 決 算

(1) 収入の部

項 目	予算額 (円)	内訳 (算出の明細)
白岡市協働のまちづくり モデル事業補助金	100,000	
合 計	100,000	

(2) 支出の部

項 目	決算額 (円)	内訳 (算出の明細)
草・芝刈り機	20,961	手動芝刈り機、グラストリマー等
剪定機	31,120	ポールヘッジトリマー等
道具等	11,562	スチールリヤカー等
チップ化機械	27,199	ガーデンシュレッダー等
プランター等	5,236	プランター等
肥料等	2,189	じゃがいも肥料等
合 計	98,267	
(うち対象外経費の額)	()	

4 添付書類

領収書の写し

事業実施写真 (※A)

事業の成果品 (※B)

講演、講義等会員以外の参加者を募り実施した事業においては、その参加者アンケートの写し及び参加者名簿の写し

その他実施した事業の内容がわかるもの

